

# 金融デジタル化の機会と課題： ASEAN+3 地域金融協力の新たな視座 (概要)

金融のデジタル化 (FinDig) は、国際通貨・金融システムの状況を変えつつある。デジタル金融が世界のクロスボーダー取引の大部分を占めることが想定される中で、金融当局にとっての主な課題は、FinDig を促進・支援し、そのメリットを活用する一方で、それに付随するリスクを軽減・最小化することにある。デジタル技術に精通した人が多く、また銀行口座を持たない人々も多い ASEAN+3 地域では、FinDig は国境を越えた多くのメリットと機会を提供しているが、適切に協調・規制されなければ大きなリスクももたらすことになる。

「官」が政策、規制、監督に責任を持ち、イノベーション、顧客エンゲージメント、製品提供を主導する「民」の参加者に公平な競争環境を確保すべきである。

一方、加盟国の国際収支に対する FinDig のリスクの拡大に対応するため、既存の地域金融取極め (チェンマイ・イニシアティブ) の精査や、これ代わる新たな手段の検討が必要となり得る。また、AMRO は、FinDig の進展に対応したサーベイランスや調査の拡大等、FinDig 実施におけるメンバーの能力差を埋めるための新たな技術支援の枠組みの導入等を検討する必要がある。同時に、FinDig における様々な分野でのメンバー間の協調を促進していく必要があるだろう。

(以上)